

## 東海市地域公共交通網基本構想・形成計画（案）に対するご意見の概要と市の考え方

### 1 案件名

東海市地域公共交通網基本構想・形成計画（案）

### 2 募集期間

平成28年2月1日（月）から平成28年2月29日（月）まで

### 3 募集方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 市役所1階情報コーナー
- (3) しあわせ村、文化センター及び市役所交通防犯課の窓口で閲覧

### 4 提出件数

4通（13件）

### 5 意見及び市の考え方

別紙1のとおり

### 6 意見募集結果の閲覧方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 市役所1階情報コーナー
- (3) しあわせ村、文化センター及び市役所交通防犯課の窓口

※意見公開の日から平成28年5月31日（火）まで

### 7 策定した計画

東海市地域公共交通網基本構想・形成計画

### 8 意見募集時の公表資料

東海市地域公共交通網基本構想・形成計画抜粋版

パブリックコメントに関する意見及び市の考え方

番号	意見該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
1	P. 11 3-2 計画の目標とする成果指標 公共交通の利用者数（鉄道、路線バス、らんらんバス）	らんらんバスの平成26年度利用者数にはイベントでの無料日の利用者数が含まれているのか。	平成26年度の利用者数はイベントでの無料日を含んだ数字です。
2	P. 16 施策①公共交通ネットワークの充実	最近廃止した補助路線である程度収入の見込める路線の復活を図ってはどうか。	持続可能な公共交通体系の構築を図るため、利用者のニーズやまちづくりの進展に対応して、らんらんバスのルートやダイヤの再編を行って参ります。
3	P. 16 施策①公共交通ネットワークの充実	らんらんバスのルートについては、複数ルート間や、路線バスとの経路の重複を避けるとともに、市民が利用する名古屋市内の施設へのアクセス向上や他の公共交通機関との連携、および路線バスの廃止になった地域への利便性向上のため、経路を見直すべきではないか。	
4	P. 16 施策①公共交通ネットワークの充実	市内8駅を、乗り換え拠点とし、らんらんバスを巡回させた場合、バス停近傍相互の利用については、現在の系統	

		に比べその所要時間が大幅に延長されないか。	
5	P. 16 施策①公共交通ネットワークの充実	らんらんバスの北ルートでは1日に7～8便で運行され、間隔は1時間40分。さらに増便し、50分間隔とし、待ち時間を少なくしてもらいたい。	
6	P. 16 施策①公共交通ネットワークの充実	名古屋南部の高速道路玄関口である、伊勢湾岸自動車道東海IC直近の、名鉄聚楽園駅と名鉄太田川駅に、路線高速ハイウェイバスと、観光バスを発着させてはどうか。合わせて路線高速バスと観光バスツアーの誘致を図ってはどうか。	基本構想・形成計画は主に市民の日常の生活交通を対象とし、高速バスや観光バスについては除外しております。
7	P. 18 施策②既存駅・バス停の利便性向上	バリアフリー化は車椅子、障害を持たれる方々には重要で、取り組みを速めて頂くと共に、聚楽園駅のエレベーター化をぜひ具体化して頂きたい。	聚楽園駅のバリアフリー化につきましては、今後とも鉄道事業者と協働で推進して参ります。
8	P. 19 施策③公共交通の利用機会の拡大	足・腰に負担の有る無しに関わらず荷物を持つての距離を考慮すると、高齢者支援のバス停は住宅から300m範囲に（出来れば250m）設置が望ましいのではないか。	ほとんどの地域で直線距離では300m以内にバス停がありますが、道のりでは300mを超える場合もありますので、バス停位置の見直しは今後とも行って参ります。

9	P. 20 施策④情報提供の充実	スマートフォン等の携帯端末により、バスの運行状況を知ることができるようにしてもらいたい。	運行情報の提供については、今後、検討して参ります。
10	P. 21 施策⑤交通結節点機能の向上	太田川駅前の駐輪場は無料化すべきである。自家用車送迎から自転車・バスへの移行による、環境負荷や渋滞、駅前広場の混雑の低減、後者ではバス停から若干遠い地区からのバス利用が期待できるため、知多バス上野台線の利用者が多いバス停において、駐輪場を設置できないか。	市内駅前駐輪場の利用料金設定や管理方法、および利用者の多いバス停への駐輪場の設置については、今後とも検討して参ります。
11	P. 21 施策⑤交通結節点機能の向上	らんらんバスの乗り換え拠点として整備するために必要な資金は、すべて当市負担となると想定されるため、高額な支出となるのではないか。	都市計画事業として整備するものについては国土交通省からの補助を受けるなど、必要な施設に対して最小限の財政負担で整備するよう検討して参ります。
12	P. 22 施策⑥情報面での連携強化	初めて来たという人でも、バスを安心して利用できるように、バスと乗換できる駅では、構内に路線図や乗り場案内、時刻表を掲示してはどうか。	駅でのバスの情報提供についても、鉄道とバスの情報面での連携が図られるよう、今後の施策検討において検討して参ります。
13	P34 施策⑬公共交通を利用したくなる取り組み	無料化を希望される方への配慮として、年間定期券の発行はどうか。	回数券が既にありますので、年間定期券の発行予定は現在のところありません。

	み		
--	---	--	--

※その他、いただきましたご意見につきましては、要望として承りました。